

# 特別活動部会

**研究主題** 一人一人のよさを生かしながら、  
進んで実践しようとする子どもを育てる指導

## 1 主題について

今年度も、昨年度と同様学級活動での子どもたちが主体的に実践するための手立ての在り方を研究するため、この主題を設定した。

## 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月19日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月8日	第2回総合研究会 授業研究会（長木小学校）

## 3 研究内容

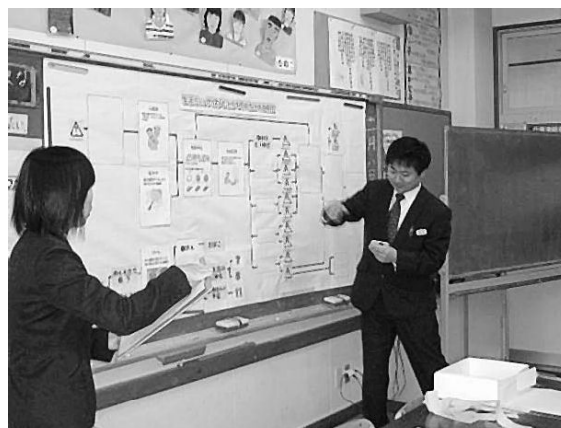
### (1) 授業研究

- ・期 日 平成24年11月8日（木）
- ・会 場 長木小学校
- ・単元名 6年学級活動
- ・授業者 平山 雄也  
佐藤 啓子

「未来の自分へのプレゼント」

#### ① 授業者から

- ・健康についてのアンケートで興味深い回答をした子どもが多かった。そこで保健の学習と絡めて自分の生活を振り返る単元を設定した。
- ・書く量が多く、子どもたちが書けるか不安だった。またそれによって他の活動時間が制限されてしまうのではないかと考えていた。どこでスリム化できたか知りたい。
- ・ペアから3人での活動に変えてやってみたがどうだったか。
- ・生活習慣と病気の関連のチェックリストとワークシートの説明を長く話し過ぎてしまった。それで時間が足りなくなったのではないか。



【養護教諭による「健康チェックリスト」】

#### ② 協議

- ・必要感を持たせる為に、アンケートの結果を子どもが提示、紹介したのがよかった。
- ・チェックリストを聞く時に知的作業があればよかった。例えば子どもたちの手元にチェックしたものが残るようなシートがあれば、切実感がもっと生まれたのではないか。
- ・ワークシートに自分の問題点を改善するためのメリット・デメリットを記入する欄があったのは、本音を出させたり、迷いながらも意思決定させたりする点でよかった。
- ・ワークシートは量が多かったが、よく書けていた。ワークシートのステップ2の数を減らし、同じ問題点をもった子供同士でアドバイスし合うと、自己決定がより具体化されてた

のではないか。

- ・アドバイスし合う場面は、2人より3人の方が補い合えて話し合いが深まった。
- ・特活と保健を関連させる授業は、ねらいをはっきりさせてやる。学習したことと自分自身の生活と結び付けるためにも今日の学習はよかった。
- ・同じことでも専門的な知識をもつ第三者から言われると効果的。豊富な知識や視覚に訴える資料がよかった。



【3人グループでの改善行動へのアドバイス】

## (2) 指導助言（高橋 敏治 指導主事）

### ① 授業について

- ・子どもたちが明るく、よい雰囲気での学習している。すばやく書く、グループで話し合うなどの学習のしつけがよくなされている。
- ・アンケートやアドバイスなど資料をいろいろ準備し授業に臨んだことが、効果的に働いていた。
- ・本時の活動過程は、指導要領解説に書かれている流れでしっかり行われていた。
- ・導入部分の養護教諭のチェックリストに時間がかかった。病気についての知識は事前に保健の時間に行っているため、復習程度で自分の課題をつかませる方法でもよかった。
- ・TTで養護教諭など専門性のある方と一緒に授業をするのは効果的だが、どこまでどの程度までやってもらうか吟味する必要がある。
- ・3人での集団思考の場面はよく話し合っていた。実践に結び付くようなより具体的なアドバイス（作戦）を明確にもつことが実践につながっていく。そのために事前に予想される改善点へのアドバイスを書かせ、それを掲示し全体で確認し合う時間をとれば、より具体的な実践するためのアドバイスができたのではないか
- ・自己決定したことを全体の場で発表するのは難しいので、グループの中で一人一人が発表する場面があればよかった。実践するための決意につながる。
- ・この後実践につなげていくための手立てを取り、ぜひ継続できるようにしてほしい。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・授業研究を通して、学級活動と他教科との関連、家庭との連携などについての研修を深めることができた。
- ・専門的な知識のある養護教諭とのTTは、豊富な知識や資料が子どもたちの学習意欲を高める上で効果的だった。

### (2) 課題

- ・導入に時間をかけず、集団思考や自己決定場面に十分に時間をかけられるような展開を考えていきたい。
- ・他教科、他領域と関連を図る際には、ねらいを明確にし、どこで何を身に付けさせるのかしっかりと年間指導計画に位置付けていきたい。